

## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年2月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社ジー・テイスト  
 コード番号 2694 URL <http://www.g-taste.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲吉 史泰

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 岩崎 友也

TEL 022-762-8540

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	11,683	△8.8	558	△36.1	536	△36.1	344	△33.1
24年3月期第3四半期	12,813	△6.6	873	419.9	839	922.4	515	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	4.64	4.51
24年3月期第3四半期	7.64	6.98

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	10,555	5,086	48.2	68.40
24年3月期	11,259	4,741	42.1	63.76

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 5,086百万円 24年3月期 4,741百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,601	△7.7	707	△39.6	691	△38.3	488	△38.6	6.56

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	74,364,376 株	24年3月期	74,364,376 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	1,499 株	24年3月期	1,149 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	74,363,076 株	24年3月期3Q	67,425,876 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しており、四半期レビュー報告書を本日付で受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(3) 追加情報 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、平成24年10月22日付適時開示でお知らせした過去の連結会計処理に関連し、過年度の決算を訂正しております。有価証券報告書等については平成24年11月13日付及び平成24年12月10日付で訂正報告書を提出しております。以下の記載における前年同四半期との比較は訂正後の財務諸表等に基づくものであります。

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、復興需要が一段落するなか、12月の政権交代後の経済政策（いわゆるアベノミクス）により円高修正・株価回復傾向が顕著となりましたが、実体経済とりわけ個人消費の回復にはまだ至っておらず景気回復を実感するには今暫く時間がかかる状況です。

外食産業におきましては、人口減少・高齢化による外食市場の縮小に加え、個人所得の伸び悩みや先行き不透明感からの消費者の生活防衛意識の高まりや節約志向は依然として根強く、企業間競争はますます激化し、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社では、前事業年度に引き続き収益力を改善すべく、積極的に業態変更や改装による既存店の強化を行うとともに、不採算店の撤退を行いました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高116億83百万円（前年同四半期比8.8%減）、営業利益5億58百万円（前年同四半期比36.1%減）、経常利益5億36百万円（前年同四半期比36.1%減）となり、不採算店舗の撤退費用等の特別損失を86百万円計上した結果、四半期純利益は3億44百万円（前年同四半期比33.1%減）となりました。

セグメント業績は、次のとおりであります。

寿司事業におきましては、当第3四半期会計期間末の店舗数は、69店舗となりました。当事業では、「寿司の日キャンペーン」や「冬華の舞キャンペーン」の実施や、クリスマスセットの販売、テレビコマーシャルや新聞広告等により販促に努めて参りました。

以上の結果、売上高39億85百万円（前年同四半期比10.5%減）、セグメント利益（営業利益）2億68百万円（前年同四半期比35.2%減）となりました。

居酒屋等事業におきましては、当第3四半期会計期間末の店舗数は、新規出店を4店舗、業態変更を5店舗で行い、不採算店舗7店舗を閉店した結果、120店舗となりました。当事業では、主力業態である「とりあえず吾平」「ちゃんこ江戸沢」における挟み込みメニュー等を導入し、集客とメニューの充実化に対して重点的に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高68億74百万円（前年同四半期比8.8%減）、セグメント利益（営業利益）6億94百万円（前年同四半期比26.1%減）となりました。

教育事業におきましては、英会話事業のジオス校舎を1校舎譲受け、NOVA校舎を2校舎新規開校、また集客効果を狙って3校舎を移転した結果、当第3四半期会計期間末の直営校舎数は43校舎となりました。英会話教室においては、「お試し留学キャンペーン」「1万円ポッキリキャンペーン」等の販促活動を展開し、新規生徒の獲得に取り組んでまいりました。学習塾においては、通常講習や冬期講習の更なる充実化を図りながら、生徒数増加に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高5億23百万円（前年同四半期比2.7%増）、セグメント利益（営業利益）58百万円（前年同四半期比26.5%減）となりました。

その他事業には、不動産賃貸料収入等が含まれ、当第3四半期累計期間におきましては、売上高2億99百万円（前年同四半期比3.5%減）、セグメント利益（営業利益）38百万円（前年同四半期比11.7%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は105億55百万円となり、前事業年度末より7億3百万円減少しております。その主な要因は、敷金及び保証金の減少3億35百万円、借入金の返済等による現金及び預金の減少3億62百万円があったことによるものであります。

負債総額は54億69百万円となり、前事業年度末より10億48百万円減少しております。その主な要因は、長短借入金の減少7億95百万円、流動負債「その他（未払消費税等）」の減少1億58百万円によるものであります。

純資産は、50億86百万円となり、前事業年度末より3億44百万円増加しております。その主な要因は四半期純利益3億44百万円の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当社は、平成24年11月13日付及び平成24年12月10日付で過年度の有価証券報告書等を訂正いたしました。これにより、課徴金など損失の発生する可能性があります。現時点において当局の処分内容が確定していないため、その金額を合理的に見積もることは困難であり、当該事象が今後の財政状態及び経営成績に及ぼす影響は明らかではありません。

このため、平成25年3月期の業績予想につきましては、課徴金などの損失金額の確定後、業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ4,215千円増加しております。

(3) 追加情報

①過年度決算を訂正した事由

当社は、平成21年4月に関連会社でありました株式会社グローバルアクトの株式を取得し、連結子会社化しました。その際に、以前に連結子会社として連結していた際の処理、及び連結財務諸表を作成していない期間における関連会社に対する投資損益等の累計額を反映した投資額を考慮せずに新規に株式の取得したものとみなして会計処理を行いました。その処理について、証券取引等監視委員会より疑義を呈され、社外の専門家である弁護士、公認会計士から成る調査チームを設置し、調査を実施してまいりました。その調査チームによる報告を受け、過年度の決算を訂正したものであります。

②過年度決算の訂正について

上記①の会計処理について、当社は金融商品取引法に基づく連結財務諸表及び財務諸表の訂正を行うことを決定し、第51期（平成22年3月期）以降の連結財務諸表及び財務諸表を訂正しております。なお、過年度連結財務諸表及び財務諸表の訂正事項に関する監査については、なぎさ監査法人より監査を受け、監査手続きは完了しております。

また、当該訂正過程の中で、持分法損益等の注記に関して、数値の連続性を保つため、第49期（平成20年3月期）及び第50期（平成21年3月期）の財務諸表を訂正いたしました。

③過年度決算の訂正による影響額について

過年度決算の訂正による影響額については、平成24年11月13日公表の「有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,788,778	1,426,461
受取手形及び売掛金	228,938	233,948
商品	10,622	11,211
原材料及び貯蔵品	119,477	153,394
その他	626,680	595,864
貸倒引当金	△11,558	△6,908
流動資産合計	2,762,937	2,413,971
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,089,289	2,098,047
土地	2,078,035	2,078,035
その他(純額)	211,138	259,755
有形固定資産合計	4,378,462	4,435,837
無形固定資産		
のれん	272,077	232,584
その他	64,549	66,367
無形固定資産合計	336,627	298,952
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,043,982	2,708,213
その他	905,875	863,888
貸倒引当金	△168,765	△165,160
投資その他の資産合計	3,781,092	3,406,942
固定資産合計	8,496,182	8,141,732
資産合計	11,259,119	10,555,704
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	464,134	577,842
短期借入金	596,714	341,911
1年内返済予定の長期借入金	1,287,797	1,093,965
未払法人税等	87,656	54,053
引当金	118,260	30,262
資産除去債務	7,951	7,768
その他	1,397,040	1,278,214
流動負債合計	3,959,554	3,384,017
固定負債		
社債	45,000	15,000
新株予約権付社債	345,000	330,000
長期借入金	901,155	554,608

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
退職給付引当金	66,878	57,893
資産除去債務	533,858	538,377
その他	666,333	589,642
固定負債合計	2,558,226	2,085,522
負債合計	6,517,781	5,469,540
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,785,195	1,785,195
資本剰余金	2,675,617	2,675,617
利益剰余金	280,617	625,458
自己株式	△92	△107
株主資本合計	4,741,338	5,086,164
純資産合計	4,741,338	5,086,164
負債純資産合計	11,259,119	10,555,704

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	12,813,261	11,683,409
売上原価	4,457,141	4,078,058
売上総利益	8,356,120	7,605,350
販売費及び一般管理費	7,482,169	7,047,113
営業利益	873,951	558,237
営業外収益		
受取利息	9,529	6,285
受取配当金	131	131
負ののれん償却額	36,576	12,839
雑収入	31,063	24,298
営業外収益合計	77,300	43,554
営業外費用		
支払利息	66,989	48,483
雑損失	44,822	16,939
営業外費用合計	111,812	65,422
経常利益	839,438	536,369
特別利益		
投資有価証券売却益	12	—
事業譲渡益	50,000	—
特別利益合計	50,012	—
特別損失		
固定資産除却損	1,416	—
投資有価証券評価損	—	416
関係会社出資金評価損	20,000	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	56,717	1,644
減損損失	12,097	43,516
店舗閉鎖損失	92,808	40,587
災害による損失	1,720	—
特別損失合計	184,759	86,164
税引前四半期純利益	704,691	450,205
法人税、住民税及び事業税	66,644	72,218
法人税等調整額	122,710	33,146
法人税等合計	189,354	105,364
四半期純利益	515,337	344,840



(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。